

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	言葉の拘束についても、入居者の立場で言われた時、第三者が聞いていて不快に感じるものではないか？を職員が現場の中で相互に意識し注意し合っている。しかし、まだ徹底しているとは言い切れないところがある。	より安心した気持ちで毎日の生活を送って頂けるようにしたい。職員同士が気兼ねなくお互いを注意し合える関係・環境作りを目指す。	より質の高いホームを目指し、職員同士の気付き(注意箇所)を書き止めて、毎月の職員会議内で接遇(言葉の拘束)について話し合う機会を作る。	6ヶ月
2	33(12)	ホームとして、重度化や終末期に向けた方針がない。	急な対応が必要になる可能性もある為、職員間で話し合い、ホームとして「できること」・「できないこと」を明確にする。早い段階から終末期についての意向が把握できるようになる。	ターミナルについての勉強会の実施。また、法人内の特養からターミナルについて、実施内容等の情報を得る。「できること」・「できないこと」が分かり、準備すべきことを具体的に実行していく。終末期の意向について把握し、書面で残せるようにする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。